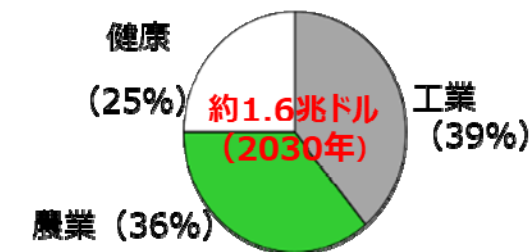


## 1. 戦略策定の目的

- OECDが世界のバイオ産業市場（特に農業、工業の分野）の拡大を予測
- ゲノム編集技術の登場、ビッグデータ・AI等のデジタル技術との融合など、バイオテクノロジーは近年、急速に技術革新
- 欧米等はバイオテクノロジーをイノベーションの重要領域と捉え、市場獲得と課題解決（SDGs等）を目指した戦略を策定・推進。
- 世界との競争には日本の強みを活かした取組が必要。科学技術・イノベーション政策の司令塔として、関係府省、産業界等に対し、バイオテクノロジーによるイノベーションの実現に向けた道筋を示し、その検討・実行を後押し

OECDの予測世界バイオ市場(GDP)



## 2. 戦略に位置付ける事項

- 世界の中での立ち位置を踏まえ、実現を目指す経済社会像（ビジョン）と目標、その実現に向けた研究開発を促進する環境整備、研究開発の重点課題及び成果の社会実装を促進するために検討が必要な課題を提示

### 本戦略のビジョン（案）

#### 【農林水産業の革新】

- ビッグデータやAI、バイオテクノロジー等を活用した品種改良（「スマート育種」）により、農業等が直面する課題を克服、生産者の所得を向上
- 環境に優しい農業、気候変動等への対応、世界の食料安定供給に寄与

#### 【革新的新素材による成長社会】

- スマートセル等を利用した新規素材の開発により、新たな市場を創出
- 地域の生物資源を活用した高付加価値品生産により、農山村地域等に産業・雇用を創出

#### 【炭素循環型社会の実現】

- 化学品等のものづくりにおけるバイオプロセスへの転換・スマートセルの活用により、石油依存からの脱却を促進

#### 【健康・未病社会の実現】

- 世界最高水準の医療の提供により健康長寿社会を形成
- 食のヘルスケア産業の創出
  - ・個人の健康状態・生活習慣等に応じた食生活・食事の提案・提供により、生活習慣病リスクの低減、健康寿命の延伸
  - ・健康機能性の訴求による高付加価値化、市場拡大、生産者の所得向上、輸出拡大

# バイオ戦略検討WG報告

## 3. 戦略策定に向けたプロセス

### ①CSTI有識者議員政策討議の実施：平成29年10月12日

CSTIによるバイオ戦略の策定、関係各省※の戦略検討への参画についてコンセンサスを形成

※：内閣官房健康・医療戦略室、経済産業省、文部科学省、農林水産省、厚生労働省、環境省

### ②バイオ戦略検討WG（重要課題専門調査会に設置。座長は理研環境資源科学研究センター 篠崎センター長）

政策討議の議論を受け継ぎ、戦略の具体的な内容について検討を開始

WG	時期	検討事項等
第1回	12/27	1. 政策討議の内容とWGの検討事項・検討の進め方 2. バイオ戦略策定に対する産業界の検討状況について 3. バイオ戦略策定に向けた検討（ビジョン、研究開発課題）
第2回	1/18	1. 研究開発を促進するための環境整備について （データベース、生物資源、人材育成、オープンイノベーション、 バイオベンチャー） 2. 産業化を促進するために検討が必要な課題について 3. ゲノム編集技術の利用に関するルール及び理解の促進について 4. 戦略の構成について
第3回	2/28予定	1. バイオ戦略の達成目標等について 2. バイオ戦略の骨子（案）について
第4回	3月予定	バイオ戦略案の検討
第5回	4月予定	バイオ戦略案（とりまとめ）

WGにおける戦略案とりまとめ以降は、重要課題専門調査会への報告・承認、CSTI本会議での戦略決定を目指す。  
さらに、「統合イノベーション戦略」への反映を目指す。